

民間企業 2013年度

Y. I. さん (文化情報コース)
ANA 大阪 内定

→就職活動の流れ→

2012年10月～11月:	滋賀大で行われたエアラインセミナーに参加する。 (内容: 航空業界について、内定者の就職体験談、模擬面接など) ネットで合説の情報を集め、必要に応じて予約する。
12月:	合説に行く。
2013年1月～3月:	自己分析、業界研究、ESの作成と添削、面接練習 ◆一般企業の選考始まる。 →ES提出、Webテスト・筆記試験の受験、会社説明会に参加
4月:	◆航空業界の選考始まる。
6月中旬:	ANA 大阪 内定

→私の失敗談→

1. 合説(合同説明会)に行き過ぎたこと

希望する企業がいくつか決まっている人は、単独の会社説明会で十分です。

合説は、将来どんな仕事がしたいか、何がしたいか決まっていなくて、自分の知らない仕事や企業と出会う場です。もちろん、将来何がしたいか決まっていて志望する企業も決めていて、情報収集したり、人事に会って印象を残しておこうという人もいます。

私の場合、ある程度したい仕事を決めていたので、合説に行っても特定の業界に偏っていません。さらに合説の場所によって話していることが多少変わってくるのでは、と疑った私はさまざまな合説に参加しましたが、これは時間の無駄でした。人事によって質問の答え方に多少の違いはあったものの、説明される内容はどの合説でも全く同じでした。合説に行く時間とお金で、一般教養の勉強や面接練習が十分できていたのではないかと後悔しました。

なので、合説に行く前に注意したいことを箇条書きにします。

- ① 同じ企業目的で何度も合説に行かない(単独の会社説明会に行くのが◎)
- ② 志望する企業に対する質問は事前にまとめておく(複数回、合説に行かなくて済む)
- ③ 友達をつくる(××大学で〇〇会社の説明会があると、情報共有できる)
- ④ 漠然と足を運ぶのではなく、目的意識を持って臨む

2. 早い段階で英語・一般教養の勉強をしていなかったこと

時間に余裕を持って、SPIや一般教養の勉強を始めた方がいいです。

12月に合説が解禁となり、さまざまな企業と出会い、ある程度志望する業界、企業を決めます。私は、3年の夏から秋にかけて小学校の教育実習に行っており、SPIの勉強をする余裕はありませんでした。なので、合説とほぼ同時にSPIと一般教養の勉強を始めました。これはかなり苦しかったです。企業研究もしつつ、自己分析もしつつ、ESも何度もダメだしをくらい、SPIの勉強までしなくてはならなかったのです。どれも手を抜いて選考を突破できるものではありません。この時はじめて、就活というのは長期戦だったのだということに気がきました。企業研究は、(志望する企業が決まっていなくて)合説が解禁になってからでも遅くはありません。ただ、質問しておきたいことを事前にまとめたりするのに、多少合説の前に軽くその企業を調べておく必要はあります。

→就活を振り返って→

就活では、多くの後悔が残ってしまいました。一番悔しいのは、面接で言いたいことが伝えられなかったときや、自分をしっかりアピールすることができなかったときです。これらは、面接練習が十分に

行えていなかったことが原因だと考えています。余裕を持って就活に臨めていたらと今でも後悔しています。皆さんは時間に余裕をもって就活に臨んでください。

面接は会話です。考えた文章を読み上げるのではなく、伝えたいことを明確にし、自分の言葉で自分の思いを相手にぶつけます。特に就活では、どんな些細なことでも自分らしさをアピールすることが大切です。飾った自分ではなく本来の自分をうまくアピールすることをお勧めします。

最後に、たとえ残念な結果だったとしても、あまり深刻に受け止めずに、気楽に構えて、就活を楽しむくらいの方が気持ちは楽だと思います。皆さんが就活を楽しみながら終わられることを願っております。頑張ってください！